

令和2年度第4回 瀬戸内市地域公共交通会議 会議録要旨

開催日時：令和3年3月18日（木）10時00分～11時20分

開催場所：瀬戸内市役所 2階 大会議室

出席委員：大東会長（岡山商科大学経営学部）

田野副会長（瀬戸内市副市長）

原 委員（両備ホールディングス㈱）

佐藤委員（東備バス㈱）

坂本委員【代理：末藤氏】（㈱ネイチャーワールド自動車）

元浜委員（瀬戸内市商工会）

秋山委員（瀬戸内市観光協会）

角房委員（生活交通網をつくる会）

石田委員（中国運輸局岡山運輸支局）

松尾委員（岡山県県民生活部県民生活交通課）

藤森委員（備前市市民生活部市民協働課）

岸本委員（瀬戸内警察署）

中山委員（備前県民局建設部管理課）

出席委員 13名

委任状提出委員 7名

事務局：企画振興課 松尾（部長）、岡崎（課長）、青砥（課長補佐）、木村（主査）

1. 開会

2. 会長あいさつ

※本市の公共交通網の軸となる民間路線バスや鉄道をはじめとした交通事業者は、新型コロナウイルスの影響で、大きな打撃を受けている。本日両備ホールディングス様から、路線維持に関するお話を伺う。

※3月13日にJR西日本がダイヤ改正を行ったことにより、赤穂線は昼間のダイヤが減便になっている。今後公共交通にどのような影響があるかを見極めていく必要がある。

※協議事項にある「地域公共交通計画の策定」では、本日の会議で計画の最終確認を行い、策定を完了する予定としている。

3. 協議事項

(1). 地域公共交通の現状について

---事務局から資料の説明---

会長 意見や質問はあるか。

委員 旅客の範囲の変更について、法律の改正に伴い観光客も瀬戸内市営バスを利用できることになったと認識している。観光客が増加した際に定員オーバーすることを危惧している。

事務局 10人乗りの車両で助手席は利用できないため、定員としては8名となっている。

5~6人程度の団体で観光利用される可能性はある。現状では、定員オーバーした場合、乗務員から乗ることができなかった方へ無料のタクシー券を配布している。これは、乗車予定だったバス停から降車予定だったバス停までタクシーを無料で利用して頂くことができる。運行開始から現時点までに2回配布したことがある。これからは観光利用増による積み残しをどうするか検討しておく必要があるが、当面は、タクシー無料券の継続を予定している。頻発するようであれば何らかの方法を考える必要がある。

委員 乗客の利便性を考えて頂きたい。

副会長 市営バスの行き先が分かりにくい件で、議会でも質問があった。行き先表示に関する改善策の検討をされているが、行き先表示に色がついている意味があるのか。

事務局 路線別で色を設定しており、その色で分けている。公共交通マップでもその路線のテーマカラー別で記載しているが、利用者の中にはまだ認知されていない方もいるため、今後も周知していきたい。

副会長 東京の地下鉄でも路線別で色分けして利用しやすくなっているため、

引き続き市営バスの路線の色を周知して頂きたい。

委員 利用される方がどの方面へ行くかわかりづらい。例えば、青の路線では簡単にとりはずししやすい青テープを貼れば利用者が路線を判別するための手がかりになり、利便性は向上すると思う。

事務局 文字だけではサイズなどにも限界があるため、それ以外でも工夫して対応していきたい。

会長 路線の色設定については、そのうち気づいてもらうだけでなく、知っていただけるように周知をして頂きたい。

---資料 1 のタクシー助成部分について---

委員 タクシー活用事業における利用券の利用状況について、利用者数の推移のグラフで令和 2 年度 9 月のデータが抜けており、それ以降の数値がずれている。公表の可能性があるので、修正をお願いする。利用券使用者数が増減するのは、申請したり、亡くなったりすることが原因か。

事務局 数値のずれは確認不足であるため、修正する。グラフ内の数字については、実際にその月にタクシー券を利用された方の人数である。

会長 増減についての理由などわかる範囲で説明頂きたい。

事務局 増減についてはまだ分析できていない。9 月以降の増加については、対象区域を拡大したことで新しい申請者が増えたことが 1 つの原因だと思う。タクシー券の有効期限を年度単位で設けているため、3 月に向けて、駆け込み需要もあると考えているが、今年についてはコロナウイルス感染症による駆け込み需要があるかどうか見込みがつかない状況である。月ごとの利用者の増減に関する分析については、そこまではできていない。

(2). 「瀬戸内市地域公共交通計画」の策定について

---資料 2 の説明---

会長 意見や質問はあるか。

委員 前回も話をしたが、計画について進捗状況をお知らせいただけるのか。広報紙やホームページへの掲載予定はあるか。

事務局 78 ページ第 8 章計画の達成状況の評価に記載があるように、公共交通会議で進捗状況を報告する。公共交通会議の開催状況は、ホームページにも掲載しているので、随時状況報告をする予定である。

委員 市民の方へ事業や計画の進捗状況を理解して頂いた方が良いと思っている。

事務局 どういった方法で PR できるか検討する。
会長 瀬戸内市公共交通計画について、ご異議のある方はいるか。
---全員、異議無し---
会長 ご異議なしのため、本公共交通会議で承認し、策定を完了する。事務局は国土交通省への提出手続きを進めていただきたい。

---公共交通マップについて---

委員 公共交通マップはどこへ発注し、費用はどこから出ているのか。
事務局 広告会社から作成したいと申し出があった。以前は市が発注して作成していたが、一昨年から市が監修し、広告入りで発行している。
委員 市の負担はないのか。様々な企業の協賛で発行されているが、市内業者のみで作成して欲しい。市内に同業者があるのにも関わらず、市外の事業者の広告が掲載されていることに違和感がある。また、市外の事業者は費用を抑えられるかもしれないが、印刷事業者についても、市内の事業者に依頼してはどうか。
事務局 今回は、市の負担はない。広告会社は公募した結果、県外事業者へ依頼している。
委員 市内でできるところがなければ市外でもいいが、市の発行であれば市の負担で発行してみてもどうか。
事務局 頂いた意見を参考にし、検討する。

4. その他

(1). 路線維持に向けた協議のお願い（両備ホールディングス株式会社、東備バス株式会社）

---資料について、両備ホールディングス 原委員から説明---

事務局 ただ今の説明について意見があるか。
会長 市内の民間路線バスの状況を教えて頂きたい。
委員 路線によっては便数が少ない、市営バスとの運賃格差がある、市営バスと路線バスの乗継ぎがあまりできていないといった状況である。幹線としては路線バスが機能しているが、ネットワーク内で事業形態が違う市営バスがあるため、運賃を含め市営バスと路線バスが一体となったネットワークを検討していく必要があると考えている。
副会長 市の立場として、路線バスは市の基幹であるため、両備バスと協議しながら路線を維持していきたい。検討状況は交通会議で報告し、慎重に進めていきたい。
委員 路線維持に向け、両備バス・東備バスに維持していただくための方法を協議していくのだと思うが、専門的な内容について、この場で協議するのは難しいのではないか。この会議で何も意見が出ないならば、

副会長

撤退するという判断をとる場として利用はしないで頂きたい。
今後の方針を市と両備バスで協議し、検討状況を踏まえてどういったあり方で維持すべきか、公共交通会議でお諮りしたい。市と両備バスで案を検討し、会議でご意見を出して頂くイメージである。

以上

5. 開会

副会長あいさつ

大きな節目である公共交通計画の策定ができた。今後も計画について、状況の変化に応じて改訂や制度の見直し等も出てくると思うので、引き続きよろしく願います。